

しらかば

あたたかく かしく たくましく

令和3年10月29日発行 第7号

読書の秋

富良野市立山部小学校長 桑原久美

「外の木が赤や黄色に変わったね。」
教室の窓から外を見て、子どもが教えてくれました。季節の移ろいに気付く生活は素敵です。10月初旬には雪虫が飛び、もう芦別岳の頂上は白くなっています。山部にもまもなく冬がやってきます。校舎内が暖かいためなのか、Tシャツ短パンの子どももいます。風邪をひかぬよう祈るばかりです。

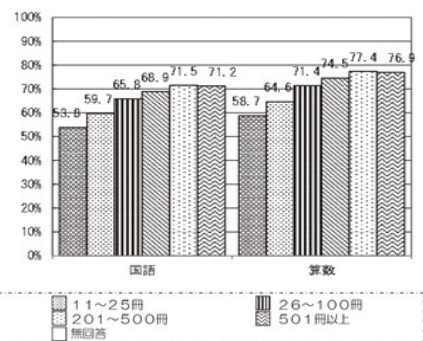
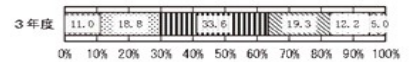


しかし、まだ秋です。秋と言えば読書。10月から司書の廣嶋さんが、図書館前にぶどうを模して子どもたちが読んだ本の掲示をしています。学年ごとにどのような本が好まれるのか傾向がわかります。文字数が多い小説のようなものよりは、イラストや写真が多く分かりやすいものや、遊び感覚で楽しめるものに人気があるようです。どのような本でも興味をもって手にすることが大切です。高学年はたくさん読んでいるので、すでに数回収穫されています。



児童会の文化委員会も、読書への関心を高める集会を企画しました。「かげさがし大会」です。本の表紙を影絵のように作り、そのシルエットと分類記号を手がかりに本を探すゲームを休み時間に行いました。シルエットで本を判別できるのか心配で見えていましたが、次々と見つけてくる姿に驚きました。図書館にどんな本があるのか知っているようです。問題の紙は何枚も用意しているようでしたが、全部見つけ終わった時の満足そうな笑顔が印象的でした。文化委員会の子どもたちは、ぜひ読んでもらいたい本を出題したようです。この集会は子どもからのアイデアで決まったようです。いろんなことを思いつくなど感心しました。

さて、読書と学力は関係するのでしょうか。右のグラフは、今年度の全国学力・学習状況調査の結果です。家の蔵書数と正答率を比較したものです。家の本の数が多いほど、正答率が高くなる傾向が見られます。しかし、全ての家庭で200冊以上用意するのは難しいことです。なので、学校の図書館をもっと活用しませんか。ご家庭でも「学校で本を借りておいで。」「どんな本を借りてきたの？内容を教えて。」など本に関する会話が増えてほしいと願っています。読書から、言葉を知ったり知識を得たり考えを広めたり、たくさんの学びがあります。今以上に本が好きな子どもたちが増えることを期待しています。



保護者・地域の皆様へのお願い

子どもたちの安全のため、登校時（8:00~8:15）および下校時（14:30~15:30）の校舎前の車両の通行には十分注意するとともに、正面玄関前への車の乗り入れはご遠慮ください（スクールバスを除く）。今後、降雪期となり、子どもたちの送迎で来校される機会も多くなるとは思いますが、その際には、山部支所の駐車スペースをご利用いただきますよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。

